

はじめに—オカルトとは 6

第I章

オカルト復興 10

- 1. 合理主義への警告 12
東洋からの衝撃 神智学協会 「黄金の夜明け」 心靈研究協会
- 2. イエイツの足跡 21
民話・伝説の世界 インド思想との出会い 神智学協会との確執 魔術の世界に踏み入る
交霊術への傾倒 心靈論の体系化 東洋思想との再会

第II章

オカルティズムと作品 44

- 1. シャンカラ 46
バラモン僧モヒニチャタージー 欲望の放棄 再生への欲求 再生への信仰
- 2. カバラ 62
ネザースのカバラ 「生命の樹」 想像の力
「薔薇の象徴」 アツテオアの復活 魔術師と詩人

3. 心靈論 85

霊媒と自動筆記 ミルボーにおける奇跡 スウェデンボルグと霊界 霊界と想像の力
世界霊魂と個人霊 死後の魂の変貌 「火の状態」への道 「幻想録」の刊行 思想が芸術か

4. ウパニシャッド 132

シユリー・ブローヒタスヴァミー 「もの」と瞑想行 最高我との二体化 ウパニシャッドの哲学と「幻想録」改訂
「超自然の歌」 「白鷺の卵」 非個人的な詩へ 心靈論への復帰

5. 禅仏教 178

禅の心 「空」のリアリテ 反定立としての禅 東西の対立を超えて

第三章

「内」への下降 200

- 1. 死への指向 202
詩人の視点 ユングとイエイツ 西洋的法悦と東洋的な悟り
唯識論と「幻想録」における再生 「ヒザンテウム」—— 霊魂変貌のドラマ 劇作にみる死後の世界
- 2. 生への回帰 232
超常的な力と無意識 超常的な力の実現 大乘への指向 実存の苦悩を超えて

むすび—イエイツとエリオット 252